資料1

第2回草津市自転車安全安心利用促進委員会の振り返りについて

・議事1　第2次草津市自転車安全安心利用促進計画の骨子案について

【概要】

計画の骨子案について説明し、御意見をいただきました。

【次期計画に関わる主な意見と対応】

主な意見	対応
○第 6 回パーソントリップ調査年度を、計画に示していただきたい。	●計画書上で表記いたします
○世代別の人身損傷程度および草津市の自転車事故の年代別死傷者数は分かるか。	●警察に照会し、情報を取り寄せています。
○基本理念には「自転車の活用により誰もが事故無く…」や基本方針③にある「あらゆる」について、表現として言い切ってよいのか	●記載の意図は変わりませんが、ご指摘を踏まえて記載を整理いたしました。 基本理念の「自転車の活用により誰もが事故無く…」について表現を修正しました。 基本方針③についても表現を修正し、「自転車を活用した豊かに暮らせる持続可能なまちの実現」としました。

・議事2　草津市自転車ネットワーク計画の見直しについて

【概要】

草津市自転車ネットワーク計画の見直し方針等について説明し、御意見をいただきました。

【次期計画に関わる主な意見と対応】

主な意見	対応
○自転車通行可歩道上の緑地帯や街路樹の剪定は適切にし、走路を確保されたい。 ○ネットワーク路線で整備済みのものが経年劣化した際には、手直しを進める必要もある。計画への記載も検討されたい。	●道路管理者と連携して走行空間の維持管理に努めてまいります。「自転車の走行空間の整備（ネットワーク計画）」内に、適切な維持管理を行う旨を記載いたします。
○自転車ネットワーク計画に自転車店の場所がプロットされていれば、万が一の事故や故障の際にも安心ではないか。	●有効な取組である一方で、自転車ネットワーク計画は、自転車通行空間を効果的・効率的に整備するため、ネットワークを構成する路線や整備形態等を示すことを主な目的としていることから、自転車店の位置情報については、同計画に直接位置付ける事項とは異なるものと考えています。 ●いただいた御意見については、自転車利用者の利便性や安心の向上につながる視点として、今後、ホームページや自転車利用者向けマップ

	等今後の情報発信のあり方を検討する際の参考とさせていただきます。
○整備率が 3 割というのはなぜか。低いなりの理由があれば、次期計画の見直しで整理すればよいのではないか。	●路線によっては、公園整備と一体に実施した方がよいものもあります。また、道路整備は緊急車両ネットワーク等、自転車計画以外の計画に基づいて整備されるなか、限られた予算の中で、国の支援制度を活用しながら、取り組んでまいります。

・その他　議事以外での主な意見と対応

主な意見	対応
○駅前のロータリー整備や交通環境の改善に自転車の視点も入れてもらえるようにしてほしい。具体的な協議や検討はあるか。他部署と連携できているか。	●上位計画や関連計画として位置付けられる、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、草津駅・南草津駅の未来ビジョンなどと整合を図りながら、庁内関係部署と連携して検討を進めてまいります。
○自転車ネットワーク計画の推進にあたり、施工を地域の児童と一緒に行うなどにより、意識の高揚を図れると考える。	●取組の一つとして検討し、関係部署と協議のうえ実現可能性を探ります。